



平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 東芝テック株式会社
コード番号 6588 URL <http://www.toshibatec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 総務部業務・広報室長
四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 鈴木 護
(氏名) 村川 雅彦
配当支払開始予定日

TEL 03-6422-7009
平成22年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	184,801	1.9	7,806	99.4	5,514	187.3	3,763	
22年3月期第2四半期	181,268	19.9	3,915	55.4	1,919	74.5	1	100.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第2四半期	13.69	13.67
22年3月期第2四半期	0.00	0.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第2四半期	283,799	139,061	45.2	467.69
22年3月期	289,518	142,692	45.1	474.85

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 128,239百万円 22年3月期 130,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期		0.00		5.00	5.00
23年3月期		2.00			
23年3月期(予想)				3.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	380,000	4.2	15,000	54.2	11,500	58.9	4,000	3.5	14.58

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
 新規 社 (社名)、 除外 社 (社名)
 (注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
 (注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無
 (注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 288,145,704株 22年3月期 288,145,704株
 期末自己株式数 23年3月期2Q 13,948,118株 22年3月期 13,103,668株
 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 274,901,676株 22年3月期2Q 275,218,028株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続の実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 . その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第 2 四半期連結累計期間)	7
(第 2 四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4 . 補足資料	
(1) 決算概要の推移	補足1
(2) 事業の種類別セグメント情報の推移	補足2
(3) 海外売上高(連結)、海外生産高の推移	補足3
(4) 資源投入の推移	補足3

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間(6ヶ月間)の状況

平成23年3月期第2四半期連結累計期間(平成22年4月から同年9月までの6ヶ月間)の世界経済は、総じて景気回復基調が続いたものの、そのテンポは鈍化いたしました。地域別に見ると、米国では個人消費の伸び悩みにより景気は停滞し、欧州ではユーロ安による輸出の増加はあったものの、総じて景気は減速いたしました。また、アジアでは欧米景気の減速による輸出の減少などから景気拡大ペースが鈍化いたしました。一方、日本経済は、景気対策効果により個人消費が押し上げられたことから、景気拡大ペースが一時的に加速したものの、世界経済の減速や円高による輸出の鈍化を主因に景気は減速傾向で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループは「グループ総合力の発揮」により、トータルソリューションの提供、環境対応商品等の新商品の開発、新興国や今後成長の見込まれる領域への傾注による事業規模の拡大に努めるとともに、リソースの一層の効率化による収益力の向上に、鋭意努めてまいりました。

また、事業領域拡大の早期実現及びトータルソリューションプロバイダーとしての地位の確立を目指し、平成22年4月1日より、システムソリューション事業、ドキュメントソリューション事業、海外POS & AIプリンタ事業を中心とする事業運営体制の下で、社業の尚一層の発展に努めてまいりました。

売上高につきましては、為替によるマイナス影響はありましたが、前年同期比2%増の1,848億1百万円となりました。損益面につきましては、増収及び収益力強化などにより、営業利益は前年同期比99%増の78億6百万円、経常利益は前年同期比187%増の55億14百万円、四半期純利益は前年同期比37億62百万円増の37億63百万円と大幅な増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメントの状況は、次のとおりであります。

システムソリューション事業

国内市場向けPOSシステム、複合機、AIシステム及びその関連商品等を取り扱っているシステムソリューション事業は、個人消費の不振による流通小売業の収益力低下や設備投資抑制による需要の低迷が続く厳しい事業環境の中で、マーケットニーズにマッチした新商品の開発、主力・注力商品の拡販、エリア・マーケティングの推進、国内販売・サービス体制の効率化等による収益体質強化等に鋭意注力いたしました。

POSシステムは、量販店向けPOSシステムが堅調に推移したことなどから、売上は増加いたしました。

複合機は、新機種への入れ替え需要などから、売上は増加いたしました。

AIシステムは、バーコードプリンタや消耗品が堅調に推移したことなどから、売上は増加いたしました。

この結果、システムソリューション事業の売上高は858億34百万円、営業利益は32億28百万円となりました。

ドキュメントソリューション事業

海外市場向け複合機及びインクジェットヘッド等を取り扱っているドキュメントソリューション事業は、円高や競合他社との価格競争激化が続く厳しい事業環境の中で、フルカラー高速・中速複合機等の戦略的商品の拡販、新興国市場における拡販、経営効率の改善等に鋭意注力いたしました。

複合機は、為替の影響により欧州等で減少しましたが、アジア等で伸長したことから、売上は前年同期並みで推移いたしました。

その他の製品は、大手顧客向けの増加によりインクジェットヘッドが伸長したことなどから、売上は増加いたしました。

この結果、ドキュメントソリューション事業の売上高は830億56百万円、営業利益は23億30百万円となりました。

海外POS & AIプリンタ事業

海外市場向けPOSシステム、AIシステム及びプリンタ等を取り扱っている海外POS & AIプリンタ事業は、為替によるマイナス影響や競合他社との競争激化が続く厳しい事業環境の中で、新規事業領域・販路・顧客の開拓及びアライアンス戦略の推進による拡販、コスト競争力強化による収益性の改善等に鋭意注力いたしました。

POSシステム及びAIシステムは、欧州及びアジア等で伸長したことから、売上は増加いたしました。

プリンタは、ODMが伸長したことから、売上は大幅に増加いたしました。

この結果、海外POS & AIプリンタ事業の売上高は221億92百万円、営業利益は22億48百万円となりました。

(注) AIシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ICタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。

ODMとは、顧客ブランド製品の設計・製造を行うことをいいます。

第2四半期連結会計期間(3ヶ月間)の状況

平成23年3月期第2四半期連結会計期間(平成22年7月から同年9月までの3ヶ月間)の売上高は、為替によるマイナス影響はありましたが、前年同期比2%増の967億68百万円となりました。損益面につきましては、増収及び収益力強化などにより、営業利益は前年同期比101%増の43億55百万円、経常利益は前年同期比289%増の35億73百万円、四半期純利益は前年同期比19億15百万円増の13億25百万円と大幅な増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ57億19百万円減少し2,837億99百万円となりました。

これは主に「現金及び預金」及び「グループ預け金」が合わせて19億24百万円増加、「棚卸資産」が20億13百万円増加しましたが、「受取手形及び売掛金」が28億76百万円圧縮されたこと、設備投資抑制やのれんの償却により固定資産が54億38百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ20億88百万円減少し1,447億37百万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」及び「未払金」等がそれぞれ18億54百万円、12億7百万円増加しましたが、「短期借入金」が51億50百万円減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ36億30百万円減少し、1,390億61百万円となりました。これは、「四半期純利益」が37億63百万円増加しましたが、配当金の支払いで13億75百万円及び円高の影響により「為替換算調整勘定」で43億10百万円減少したことなどによります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動による収入は、155億65百万円、投資活動による支出は、設備投資等により 33億55百万円、これによりフリーキャッシュ・フローは122億10百万円となりました。

また、財務活動については、配当金の支払い、借入金の返済に努めたことにより、75億41百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の当社グループの資金(連結キャッシュ・フロー計算書の「現金及び現金同等物」)残高は、前連結会計年度末と比べ19億24百万円増加の905億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の実績等を踏まえ、平成22年4月28日に公表した平成23年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、この業績予想に当たっては、平成22年10月以降の為替レートに関して、対米ドル平均85円、対ユーロ平均110円を前提としております。

<平成23年3月期通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の連結業績予想>

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	380,000	12,000	8,400	5,000	18.17
今回発表予想 (B)	380,000	15,000	11,500	4,000	14.58
増減額 (B - A)	0	3,000	3,100	1,000	-
増減率 (%)	-	25.0	36.9	20.0	-
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	364,578	9,725	7,236	4,144	15.06

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法については、当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用している。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,720	21,936
グループ預け金	74,873	66,732
受取手形及び売掛金	53,108	55,985
商品及び製品	24,468	22,253
仕掛品	2,578	2,993
原材料及び貯蔵品	5,984	5,771
その他	19,959	21,372
貸倒引当金	1,462	1,533
流動資産合計	195,231	195,512
固定資産		
有形固定資産	28,910	31,149
無形固定資産		
のれん	20,899	23,813
その他	5,160	5,385
無形固定資産合計	26,059	29,198
投資その他の資産		
その他	33,656	33,723
貸倒引当金	59	67
投資その他の資産合計	33,597	33,657
固定資産合計	88,567	94,006
資産合計	283,799	289,518

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,700	43,845
短期借入金	10,073	15,223
未払法人税等	1,641	994
その他	47,598	47,795
流動負債合計	105,013	107,861
固定負債		
長期借入金	1	2
退職給付引当金	33,472	32,029
その他	6,250	6,931
固定負債合計	39,724	38,964
負債合計	144,737	146,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,970	39,970
資本剰余金	52,987	52,987
利益剰余金	53,792	51,392
自己株式	5,676	5,423
株主資本合計	141,074	138,927
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150	348
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	12,983	8,672
評価・換算差額等合計	12,834	8,323
新株予約権	135	103
少数株主持分	10,686	11,984
純資産合計	139,061	142,692
負債純資産合計	283,799	289,518

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	181,268	184,801
売上原価	96,834	99,111
売上総利益	84,433	85,690
販売費及び一般管理費	80,517	77,883
営業利益	3,915	7,806
営業外収益		
受取利息	220	216
受取配当金	13	19
投資有価証券売却益	-	4
デリバティブ評価益	161	-
その他	264	252
営業外収益合計	660	492
営業外費用		
支払利息	197	508
固定資産除売却損	78	99
為替差損	1,103	1,516
その他	1,277	660
営業外費用合計	2,657	2,785
経常利益	1,919	5,514
特別利益		
退職給付制度改定益	-	155
特別利益合計	-	155
特別損失		
事業構造改革費用	1,101	232
特別損失合計	1,101	232
税金等調整前四半期純利益	817	5,437
法人税等	1,261	1,857
少数株主損益調整前四半期純利益	-	3,579
少数株主損失()	444	183
四半期純利益	1	3,763

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	94,485	96,768
売上原価	51,392	53,326
売上総利益	43,092	43,442
販売費及び一般管理費	40,926	39,087
営業利益	2,166	4,355
営業外収益		
受取利息	100	83
受取配当金	0	5
デリバティブ評価益	147	-
その他	188	143
営業外収益合計	437	232
営業外費用		
支払利息	63	306
固定資産除売却損	33	229
為替差損	1,001	272
その他	587	205
営業外費用合計	1,685	1,014
経常利益	918	3,573
特別利益		
退職給付制度改定益	-	155
特別利益合計	-	155
特別損失		
事業構造改革費用	376	232
特別損失合計	376	232
税金等調整前四半期純利益	541	3,496
法人税等	1,327	2,024
少数株主損益調整前四半期純利益	-	1,471
少数株主利益又は少数株主損失()	195	146
四半期純利益又は四半期純損失()	590	1,325

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	817	5,437
減価償却費	8,551	6,671
貸倒引当金の増減額(は減少)	176	34
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,403	1,505
受取利息及び受取配当金	234	235
支払利息	197	508
有形固定資産売却損益(は益)	78	99
投資有価証券売却損益(は益)	-	4
投資有価証券評価損益(は益)	-	4
事業構造改革費用	1,101	232
売上債権の増減額(は増加)	4,532	1,684
たな卸資産の増減額(は増加)	1,578	3,994
仕入債務の増減額(は減少)	1,242	6,847
その他	2,695	1,521
小計	13,913	16,943
利息及び配当金の受取額	231	225
利息の支払額	199	505
特別退職金の支払額	47	74
法人税等の支払額	2,054	1,658
法人税等の還付額	1,070	635
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,913	15,565
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,414	2,457
有形固定資産の売却による収入	122	114
無形固定資産の取得による支出	461	896
投資有価証券の取得による支出	27	37
投資有価証券の売却による収入	-	15
長期貸付けによる支出	5	19
長期貸付金の回収による収入	25	29
事業譲受による支出	330	-
その他	24	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,066	3,355
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	81	4,834
長期借入金の返済による支出	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	1,030	1,047
自己株式の取得による支出	8	262
配当金の支払額	4	1,373
少数株主への配当金の支払額	78	32
その他	7	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,196	7,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,430	2,744
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,220	1,924
現金及び現金同等物の期首残高	68,532	88,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,752	90,593

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	リテール ソリューション (百万円)	ドキュメント システム (百万円)	オートID ・プリンタ (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	76,086	90,652	14,529	181,268	-	181,268
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,295	2,440	1,779	5,515	(5,515)	-
計	77,381	93,093	16,308	186,784	(5,515)	181,268
営業利益	2,469	1,445	0	3,915	-	3,915

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	93,979	34,446	38,732	14,109	181,268	-	181,268
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,968	531	1,085	22,461	56,046	(56,046)	-
計	125,947	34,977	39,817	36,571	237,314	(56,046)	181,268
営業利益又は損失()	2,732	1,164	1,281	2,009	4,859	(943)	3,915

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	米州	欧州	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	40,187	41,370	15,268	96,826
連結売上高(百万円)				181,268
連結売上高に占める海 外売上高の割合(%)	22.2	22.8	8.4	53.4

〔セグメント情報〕

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業領域拡大の早期実現及びトータルソリューションプロバイダーとしての地位の確立を目指して、マーケット別の事業運営体制の下で、各マーケットごとの包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、このマーケット別の事業運営体制の区分により、「システムソリューション事業」、「ドキュメントソリューション事業」及び「海外POS & AIプリンタ事業」の3つを報告セグメントとしております。

「システムソリューション事業」は、国内市場向けPOSシステム、バーコードシステム、複合機及びそのソリューション関連商品の開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。「ドキュメントソリューション事業」は、海外市場向け複合機及びそのソリューション関連商品の開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。「海外POS & AIプリンタ事業」は、海外市場向けPOSシステム、バーコードシステム、プリンタ及びそのソリューション関連商品の開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム ソリューション	ドキュメント ソリューション	海外POS & AIプリンタ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	84,480	78,590	21,730	184,801	-	184,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,353	4,465	462	6,281	(6,281)	-
計	85,834	83,056	22,192	191,083	(6,281)	184,801
セグメント利益	3,228	2,330	2,248	7,806	-	7,806

(注) 1. セグメント間取引消去62億81百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

東芝テック(株) 決算補足資料

1. 決算概要の推移

(金額単位:百万円)

[連 結]

摘 要	08年第2四半期 (累計)	09年第2四半期 (累計)	10年第2四半期 (累計)	08年度	09年度	10年度予想
売 上 高	226,247	181,268	184,801	422,600	364,578	380,000
前同期比/前期比 (%)	90%	80%	102%	86%	86%	104%
営 業 利 益	8,782	3,915	7,806	10,123	9,725	15,000
前同期比/前期比 (%)	83%	45%	199%	39%	96%	154%
経 常 利 益	7,528	1,919	5,514	6,807	7,236	11,500
前同期比/前期比 (%)	81%	25%	287%	30%	106%	159%
税 引 前 純 利 益	7,528	817	5,437	5,442	5,725	11,200
前同期比/前期比 (%)	88%	11%	665%	24%	105%	196%
当 期 純 利 益	4,618	1	3,763	2,634	4,144	4,000
前同期比/前期比 (%)	121%	0%	-	20%	157%	97%
1株当たり当期純利益(円)	16.66	0.00	13.69	9.53	15.06	14.58
連 結 子 会 社 数(社)	84	78	70	79	72	57
平均レート(US\$)(円)	106.11	95.49	88.94	100.54	92.85	86.97
平均レート(EUR)(円)	162.68	133.15	113.83	143.48	131.15	111.92

2. 事業の種類別セグメント情報の推移

(金額単位:百万円)

[連結売上高]

摘 要	09年第2四半期 (累計)	10年第2四半期 (累計)	09年度	10年度予想
システムソリューション事業	81,948	85,834	164,353	172,000
前同期比/前期比 (%)	-	105%	-	105%
ドキュメントソリューション事業	84,911	83,056	171,960	173,000
前同期比/前期比 (%)	-	98%	-	101%
海外 POS&AI プリンタ事業	20,295	22,192	39,988	47,000
前同期比/前期比 (%)	-	109%	-	118%
小 計	187,154	191,083	376,301	392,000
消 去	5,886	6,281	11,723	12,000
合 計	181,268	184,801	364,578	380,000
前同期比/前期比 (%)	80%	102%	86%	104%

注 各事業の売上高は「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含めて表示しております。

[連結営業利益]

摘 要	09年第2四半期 (累計)	10年第2四半期 (累計)	09年度	10年度予想
システムソリューション事業	1,711	3,228	3,556	6,000
営業利益率 (%)	2.1%	3.8%	2.2%	3.5%
ドキュメントソリューション事業	1,758	2,330	4,329	4,800
営業利益率 (%)	2.1%	2.8%	2.5%	2.8%
海外 POS&AI プリンタ事業	446	2,248	1,840	4,200
営業利益率 (%)	2.2%	10.1%	4.6%	8.9%
合 計	3,915	7,806	9,725	15,000
営業利益率 (%)	2.2%	4.2%	2.7%	3.9%

3. 海外売上高(連結)、海外生産高の推移

(金額単位:百万円)

[海外売上高/連結]

摘 要	08年第2四半期 (累計)	09年第2四半期 (累計)	10年第2四半期 (累計)	08年度	09年度
米 州	55,175	40,187	38,277	97,425	76,682
連結売上高に占める割合 (%)	24%	22%	21%	23%	21%
欧 州	55,884	41,370	39,135	98,801	86,988
連結売上高に占める割合 (%)	25%	23%	21%	23%	24%
そ の 他	21,057	15,268	18,536	35,546	31,492
連結売上高に占める割合 (%)	9%	8%	10%	8%	9%
合 計	132,117	96,826	95,948	231,772	195,163
連結売上高に占める割合 (%)	58%	53%	52%	55%	54%

[海外生産高比率/連結]

	08年第2四半期 (累計)	09年第2四半期 (累計)	10年第2四半期 (累計)	08年度	09年度
海外比率 (%)	68%	69%	68%	66%	68%

4. 資源投入の推移

設備投資額(有形固定資産)

摘 要	08年第2四半期 (累計)	09年第2四半期 (累計)	10年第2四半期 (累計)	08年度	09年度	10年度予想
連 結	5,848	2,834	2,293	10,708	6,940	10,000
前同期比/前期比 (%)	106%	48%	81%	101%	65%	144%

研究開発費

摘 要	08年第2四半期 (累計)	09年第2四半期 (累計)	10年第2四半期 (累計)	08年度	09年度	10年度予想
連 結	15,125	11,121	11,321	29,591	22,546	26,000
売上高比 (%)	6.7%	6.1%	6.1%	7.0%	6.2%	6.8%
前同期比/前期比 (%)	97%	74%	102%	96%	76%	115%

期末在籍人員

摘 要	08年第2四半期 (累計)	09年第2四半期 (累計)	10年第2四半期 (累計)	08年度	09年度	10年度予想
連 結 (人)	20,948	19,651	19,723	19,851	19,745	19,500
前同期比/前期比 (人)	682	1,297	72	822	106	245